

平成20年7月発行



神奈川病院 広報誌

神奈川病院だより

第24号



独立行政法人 神奈川病院の理念 国立病院機構

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。

神奈川病院 アレルギー科 医師 渡辺 博子

第7回市民公開講座を終えて

6月19日木曜日 子供のアレルギー～喘息・アトピーのホームケア～というテーマで市民公開講座を実施させていただきました。3月に閉校した看護学校の教室を活用し、これまでの1.5倍の収容が可能となった会場に、乳児を抱えたお母様方から、ご高齢の方まで幅広い年齢層の市民の皆様がご来場くださり、熱心に耳を傾けてくださって、演者の側も講演のやりがいのある講座になって、感謝しています。

乳幼児のお子様も多かったので、急遽病棟から保育士を手配し、託児所も設けることが出来ました。病院全体の協力体制に感謝しています。

講演内容としては、1：近年アレルギー疾患の増えている原因 2：アレルギーにやさしい自宅環境の整備 3：ぜん息のホームケア 4：アトピーのホームケア の4つのテーマを中心に話をさせていただきました。近年アレルギー疾患の増えている要因については細菌やウイルスに感染する機会が減り、一方でアレルゲンとなる杉花粉やダニがふえていること。そのために免疫のバランスがかわってきていることなど、少し難しい話もありましたが、皆さん真剣に聴いてくださいました。環境整備については、ちょうど梅雨時となりダニが繁殖する季節で、ダニを増やさない対策を中心に話をさせていただきました。

つい、熱が入ってしまい、後半は時間がなくなってしまって、一部駆け足の講演となってしまいましたが、現在の標準的な、ぜん息と、アトピーの治療の内容。そして、標準的な治療をきちんと実施することによりぜん息もアトピーもほぼ症状なくコントロール可能であることなど、演者がお伝えしたかった骨子については、ご理解いただけたのではないかなと思っています。

7月17日には小児の湿疹のスキンケアについての話を中心に秦野保健福祉センターでセミナー、およびスキンケアの実習を行う予定です。今回、時間の足りなかった部分ですので、ご都合の許す方はぜひ足をお運びください。



夏休みアトピー・ぜん息 教育 鍛錬入院のご案内

- 対象者：小学生・中学生のアトピー性皮膚炎・気管支ぜん息のお子さん
肥満のお子さんも別途受け入れていますのでお問い合わせ下さい。
- 平成20年7月28日（月曜日）～8月8日（金曜日）
（応相談）

●問い合わせ先

（独）神奈川病院 小児科 アレルギー科 渡辺博子 萬木晋 石井徹仁
電話：0463-81-1771（代表）

3. 入院日課

6：00	起床 検温 ピークフロー測定
6：30	ラジオ体操
7：00	朝食 歯磨き 与薬
9：30～11：30	体力作り（含プール）
12：00	昼食
14：30	体力作り・レク・検査等
15：30	リハビリ ぜん息体操
18：00	夕食
18：30	学習時間
19：30	ピークフロー測定 与薬 自由時間
21：00	消灯

地域医療機関 紹介



南が丘クリニック

院長名 原田 衛
診療科目 循環器科・呼吸器科・消化器科・一般内科
老年内科・神経内科・在宅医療

所在地 秦野市南が丘1-9
電話番号 0463-82-7606
診療時間 AM 9:00~12:00 PM 3:00~6:00
休診日 日・祝祭日・木曜日午後・土曜日午後

当院は、開業して26年目を迎えました。

その間医療界も大きな変化を来しました。それが介護保険と在宅医療でありましょう。

私は開業時から往診を主として行っていました。ある時、こんなことがありました。あまり往診が多いので、そんなに往診する

なら入院させては如何でしょうと、社会保険事務局からレセプトの返戻がありました。

時代は変わり、今や入院をさせず、在宅で診て欲しいという風になってきてしまい、驚きに耐えません。

現在30名位の在宅患者を廻っています。廻っている地域は、秦野市・中井町・二宮町・平塚市とそれ以上の遠方の方です。在宅での方ですので、高齢の方が主ですが、90歳以上はざらで、一人は100歳を越えました。

神奈川病院とは画像勉強会を通して問題になった患者を紹介しております。最近、肺の腫瘍性疾患の多いことは私の診療所以外も同じだと思います。その難問を心よく迎え入れてくれる病診連携の職員の方に心よりお礼申し上げます。

今後ともよろしくお願いいたします。

新任医師 紹介

循環器科 野村 秀樹

8年前まで当院循環器科で勤務しておりました。当時は心臓血管外科もあり、心臓カテーテル検査、PCI、透析等をやらせてい

ただしておりました。

その後、大森日赤循環器科等に勤務しておりました。今回縁ありまして、再び当院に勤務することとなりました。よろしくお願いいたします。



整形外科 隅山 香織

4月から異動になりました、整形外科の隅山香織と申します。
外来、病棟では一般的な整形外科を拝見しています。宜しく御願い致します。



呼吸器外科 杉浦 八十生

遠くに桜が映えて、すこし肌寒いなか当院呼吸器外科に赴任しました。2ヶ月が過ぎ、山の緑が鮮やかになり、いつの間にか半袖で病棟と宿舎を往復するようになりました。朝は新緑の匂い、ウグイスの鳴き声に心躍らせ、胸の中では多くの目標を持ちながら、病棟に向かいます。しかし、毎日力のなさを感じ、肩を落とすことが多くなります。夜、帰り道、寝ているとき、多くのことが頭をよぎります。

揺れる緑の中からこぼれる光に、時々、照らされている道を、自分なりに歩めていたらと思っています。



小児科 四家 達彦

皆様はじめまして。このたび5月1日付けで神奈川病院小児科に着任いたしました四家と申します。これまで3年余り、国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター（てんかんセンター）で専らてんかん診療（小児・成人）に従事しておりました。

神奈川病院では、小児神経・てんかん診療を担当させていただくことになりました。診療の目標は、発作型診断、てんかん（症候群）診断を正しくおこない、適切な治療を提案・実践・評価することです。また、てんかんセンターと連携し質の高い医療をご提供できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



「看護の日」の イベントに参加して

実行委員：高橋裕美、竹内麻美、谷嶋寿々子

「看護の日」は、（5月12日）ナイチンゲールの生誕を記念して看護の日（看護週間）と制定されました。そこで神奈川病院看護部では、地域の方々が看護や介護について理解を深めるとともに看護を身近なものとして感じて頂けるよう看護や介護に対する普及啓発活動「かながわ看護フェスティバル」をイトーヨーカドー秦野店の協力を得て開催いたしました。

私たちは、看護師13名・医師2名・栄養士1名・事務員3名のチームで看護の日のイベントに参加し、地域の方々の血圧や体脂肪測定などを測らせて頂きました。中には、神奈川病院に通院されている方も多くいらっしゃいました。

イベントに来られた方々は、血圧や体脂肪を測定した後、値について気にされる方が多く、基準値の範囲内であることを説明すると、安心した様子が見られました。また、基準値を上回っている方も、栄養士や医師からの説明を受けることにより、とても安心した様子で帰っていく姿が見られました。また、お子様連れの方が多かったので、おもちゃを渡すと大変喜ばれていました。あいにくの雨で肌寒く天候には恵まれなかったのですが、各階フロアで呼びかけを行ったことで、多くの方々に参加していただけたので、大変嬉しく思いました。

また、イベントの途中で、店内において具合が悪く倒れた方がおり、神奈川病院のスタッフが救急車への搬送も協力させて頂くようなハプニングもありました。

私たちは、病院以外の場所で、看護をすることが初めてだったのですが、イトーヨーカドーのスタッフ、救急隊の皆様のご協力のおかげで、無事に救急搬送することが出来、大変貴重な体験をすることができました。

今回は、7月に中学生・高校生の皆さんや一般の方々の「一日看護体験」を企画しております。これからも皆さんが看護や介護に興味を持って頂けるよう活動していきたいと思っております。



看護師募集

～ホームページも是非ご覧下さい～

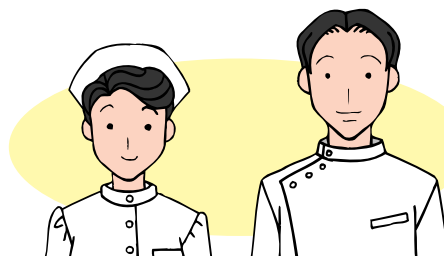
<http://www.hosp.go.jp/~kanagawa/>

国立病院機構神奈川病院

☎ 0463-81-1771 (代表)

看護部長室 (内線) 2004

管理課 (内線) 2121



メタボリックシンドロームと 食 事

管理栄養士 木村 祐子

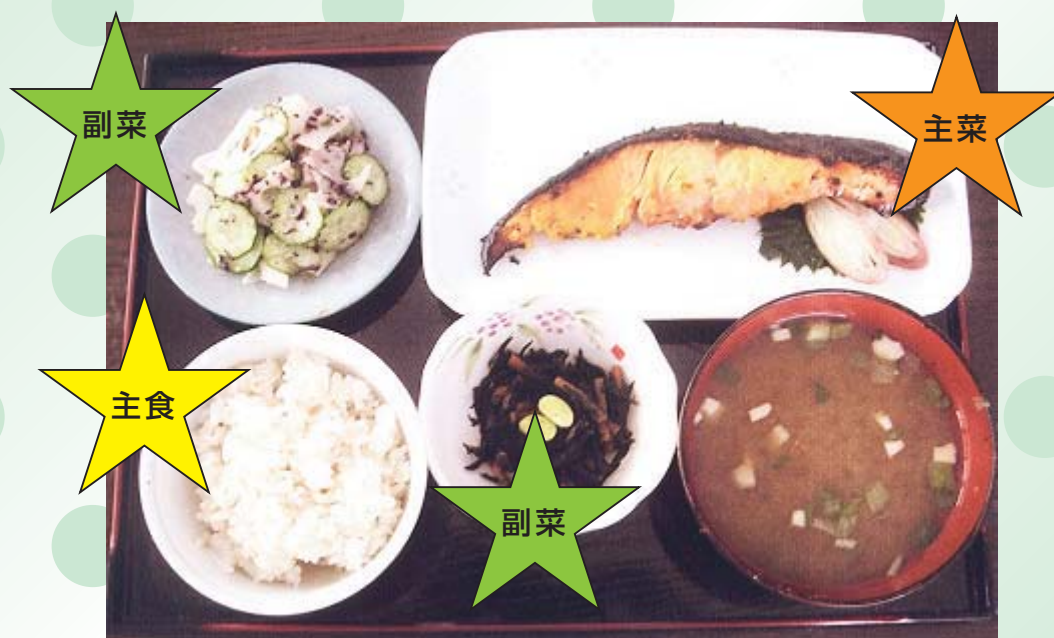
〈メタボリックシンドローム〉

過食や運動不足から内臓脂肪がたまり、高血糖・高血圧・脂質異常のいずれか2つ以上をあわせもつ状態を、“メタボリックシンドローム”といいます。現在40～74歳の男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドロームの可能性あります。

メタボリックシンドロームは生活習慣と密接な関係があります。特に過食や欠食などの乱れた食生活は内臓脂肪がたまる原因に！

“朝は時間がないからパン1個”、“夜についつい間食”という生活をしていませんか？

〈バランスのよい食事～適切な量を1日3食、規則正しく～〉



毎日の食事は、主食・主菜・副菜を揃えましょう。

☆**主食**：ごはん・パン・麺類など主にエネルギーのもとになるもの。

☆**主菜**：魚・肉・卵・大豆製品などを使うメインのおかずで、体を作るもとになるもの。

☆**副菜**：野菜・海藻・きのこ・こんにゃくを材料に使う料理で、体の調子を整えるもの。

この他に具だくさんの汁物を加えると、様々な食品を手軽にとることができますが、塩分をとりすぎないように1日1杯を目安にしましょう。

今日から主食・主菜・副菜の揃った3つ星ごはんを、

“メタボ予防”を始めませんか？



病棟の紹介 ～3病棟～

3病棟 久保田まり子

3病棟は、県内でも数少ない結核の病棟です。

結核といえば以前「不治の病」と言われていました。しかし、今では入院期間も短くなり早い方では、約1ヶ月半で退院でき、正しく治療を受ければ治る病気です。

結核は、内服による治療が重要で、私たち看護師は、退院後の生活を考え、入院時から地域の保健師さんや、外来看護師、ソーシャルワーカーと協力し約1年間の治療を無事に終了できるように援助しています。

また、結核の治療の一つには良い空気が必要です。当院はそれにふさわしく緑があふれ空気がきれいです。更に散歩コースの途中には昨年オープンした「小鳥の憩いの場」があり、様々な小鳥たちが癒しを提供してくれています。

入院中、私たちはできるだけ患者さんの不安やストレスを軽くする様に、季節毎に行事を計画し患者さんに楽しんで頂けるよう考え、昨年は短冊に願いを書いた七夕や、クリスマスにはツリーへの飾り付けと点灯式で楽しみました。また患者さんだけではなくご家族も参加した書き初め大会は、患者さんの隠れた才能が見えて好評でした。

今年は、もっといろいろな行事を計画する予定です。

患者さんが入院生活を少しでも快適に過ごすことが出来るよう神奈川病院のマスク美人たちは、明るく、優しく、時には厳しく、今日も患者さんへ癒しを提供しています。

院内で私たちを見かけたら気軽に声をかけて下さい。



職員手作りの「小鳥の憩いの場」



散歩コースの1つ藤棚

病棟の紹介 ～4病棟～

4病棟 岡部 久美

4病棟は一般病床と亜急性期病床があります。一般病床は、主に肺炎や喘息といった呼吸器や心不全等の循環器の患者さんが入院されます。亜急性期病床は、呼吸器や循環器、整形外科や脳外科など各科の患者さんが、病状が安定し、在宅に向けて環境整備や施設入所までのリハビリテーション目的でこられます。そのために地域連携室のソーシャルワーカー、地域や施設のケアマネージャー、訪問看護師、ヘルパーと連携をとり、安心して退院できるようにサポートしています。

また、患者さんは80歳以上の方が多く、廃用症候群予防として入院生活に変化をつける工夫をしています。その工夫のひとつとして不定期ですが、平成19年度から高校生の管弦楽部、ボランティア団体の演奏会や紙芝居などのイベントを行いました。演奏会には他病棟からの参加もあり、懐かしい歌に皆生き生きとした表情で口ずさみ、手をたたき、普段とは違った時間を楽しんでいただきました。

4月から後期高齢者医療制度がはじまり、日々深刻化する医療問題に少しでも家族の方のサポートができるように、スタッフ一同一丸となって毎日がんばっています。



私の野鳥観察日記

埼玉医科大学病院 脳神経外科准教授 小林正人

先日、貴院でパーキンソン病や不随意運動症に対する機能的・定位的脳神経外科について講演させていただきました。その際に、私の趣味である野鳥観察についてもお話ししましたが、こちらに関してもたくさんのご質問・ご感想もいただき、大変光栄でした。この度、野鳥について文章を、とのご依頼まいただきましたので僭越ながら寄稿いたします。あくまで趣味の領域であり私は決して野鳥の専門家ではありません。私よりずっと造詣が深い方もいらっしゃる方もおられることと存じます。稚拙な表現・乱文などはどうぞご容赦ください。



コジューケイ



ガビチョウ

私と野鳥の出会い(?)は小学3年生にさかのぼります。自宅の庭に水を飲みに来たヒヨドリを見て、父に名前を覚えてもらい鳥の図鑑を調べたところから私の野鳥好きは始まりました。野球を見に行った帰り、暗いために飛べなくなって車道でうずくまっていたハトを父が助けて朝まで家にかくまった(?)という出来事もこの頃ありました。その後、野鳥に興味を持ち続けてきたわけですが、特に野鳥観察のみを目的に出かけるのはまれで、旅行のついでや通勤途中に注意を払ったりする程度です。



カワラヒワ

さて、野鳥観察の楽しさは、その歌声や姿のうつくしさ、仕草の可愛らしさに加え、自然の美しさや四季の変化を感じられることにあります。



キジバト

います。最も身近な野鳥であるスズメを例に挙げます。この季節(春-初夏)には、張り切ってきれいな声でさえずり、時には追いかけてこをしてけたたましく鳴いたり、あるいは猫やヘビが巣に近づくと警戒の声(ジクジク...)を出したりします。小さな体で巣の材料をせっせと民家の屋根に運ぶ姿が見られたかと思うと、しばらくして雛鳥の声が聞こえてきます。結構大きな声で、相当お腹が減っているのかなとつい想像してしまいます。夏らしくなってくる頃には巣立ったばかりのくちばしがまだ黄色い子雀が、親雀から餌をもらったり家族と一緒に水浴びや砂浴びをしたりする光景もみられるでしょう。また、秋-冬になれば仲良く群れて餌を探したり、ちょっと小太りになって仲間と身を寄せ合っている姿が見られるようになります。



シジュウカラ

今の季節、とてもきれいな声で鳴くウグイスですが、冬には日当たりのよい藪に住んでいてとても地味で小さな声で「ジッ・ジッ」と鳴いてい



シメ

ます。まさに季節の変わり目に歌声を劇的に変える小鳥です。この冬の間の地味なウグイスを見つけるのも私にとっては冬の楽しみの一つです。ちょっと‘オタク’でしょうか。

春はたくさんの小鳥がやってくる季節でもあります。オオルリの青、キビタキの黄色などは新緑の中で見るととても美しいですね。芽吹き始

めた林の中で、よく通る声でさえずっている姿を見つけたときにはとても幸せな気持ちになります。東南アジアからやって来るそうですが、あの小さな体を見るたびに驚くともによく日本まで来てくれたと感謝してしまいます。彼らに少し遅れてツバメがやってきます。複雑な声でさえずるこの小鳥が軒下でせっせと巣作りをはじめる5月にはだんだん緑が濃くなって南からの小鳥を見つけたのが難しくなります。でもその後、更に夏らしくなる季節になると川原の草原ではオオヨシキリが大声で元気に鳴きだします。暑さなんでものともせずになんぼっています。夏の季語ともなる元気な「ギョウギョウシ」です。



ジョウビタキ



スズメ

8月の下旬、ツクツクボウシの声が聞こえる頃に夏鳥たちは南へと帰り始め、夏の終わりを感ずります。少しさびしい気もしますが、オナガやヒヨドリが元気に飛び回り、柿などの果物を物色し始めます。木々の葉が色づき始めると、モズの姿も目立つようになります。スズメやムクドリが群れて夕暮れ時には大騒ぎをし始めます。そうして落ち葉が積もる頃、たくさんのカモに加え、ジョウビタキやツグミがシベリアからやってきます。都会の空にもカモメがたくさん舞うようになります。時々、とても珍しいカモがやってくることもあって、寒い中でも私はつい海や湖を見かけると引き寄せられてしまいます。



ツグミ

そして再び春が巡ってきて、梅が咲き、カタクリが咲き、水仙が咲いて桜が咲く頃には冬鳥たちはだんだんと帰ってゆきます。中には4月下



トラツグミ

旬までいるのもいて、つい心配になります。ユリカモメは夏になると顔が黒くなるのですが、顔の色が変わり始めるまで近所の池にいるのを見かけますと、みんなのところに帰れるかな?と心配すると共に夏羽が見られてラッキーと思ったり、そんなに居心地がいいのか?と勝手に想像したりしております。そんな彼らも、私の心配をよそにいつの間にかいなくなり、ウグイスやシジュウカラが暖かさを感じて元気にさえずる春がまたやってきます。

このように野鳥たちは季節を感じさせてくれます。現にたくさんの鳥が俳句の季語になっています。彼らを見ながら、聞きながら、気候や花や食べ物のすばらしい日本の四季を感じていると私はとても幸せな気分になります。最近は妻も巻き込むようになりました。お金もかからず、歩き回るので健康になれる野鳥観察。自然環境を大切にすることがおのずとわいてきます。



ハクセキレイ

私は先日神奈川病院にお伺いしてその環境の素晴らしさに驚き、ま



メジロ

た院長先生が撮影された小鳥の写真を拝見してとてもうらやましくなりました。丹沢山系の麓という素晴らしい環境にある神奈川病院で、患者様や医療スタッフの方々が美しい日本の四季を感じ自然を楽しんで、大切な時間を過ごされますよう心から祈念いたしております。

各科診療担当医表						
平成20年7月1日現在						
科別	曜日	月	火	水	木	金
一般外来	総合内科	齊藤(真)	前 島	前 島	前 島	齊藤(真)
	腎臓内科		前 島	前 島	前 島	
	循環器内科	亀 崎	吉田 野村(秀)	松崎(秀)	亀崎・藤井	田 宮
	呼吸器内科	大久保	篠 田	宮本 9:30~	布施川	大久保
	消化器内科	齊藤(真)				齊藤(真)
	神経内科			植 杉		大 友
	心療内科・精神科			松崎(淳) 7/16 午後 7/23午前		松崎(淳) 7/4 7/11 午前・午後
	小 児 科	萬木(晋) 四 家 渡 辺 14:00~(予約制)	萬木(暁) 萬木(晋) 午後(予約制) 石 山	野村(伊) 午前・午後(予約制) 渡 辺 9:00~	野村(伊) 石 山	萬木(晋) 萬木(暁)
	アレルギー科 (小児)	萬木(晋) 渡 辺 14:00~(予約制)	萬木(暁) 萬木(晋) 午後(予約制)	野村(伊) 午前・午後(予約制) 渡 辺 9:00~	野村(伊) 第2・第4予防接種 午後 検診	萬木(晋) 萬木(暁)
	外 科	櫻 井	当番制	当番制	徳 原	櫻井・清水
	消化器外科	櫻 井	当番制	当番制	徳 原	櫻井・清水
	呼吸器外科	竹 内 14:00~		加勢田 柿 崎		加勢田・柿崎 竹 内 14:00~
	脳神経外科		齋藤(良)		市末 寄	
	整形 外科	隅 山 宅 三 宅	三 宅 (義興外来) 高見澤	草 山 隅 山	予約のみ	草 山 高見澤
	泌尿器科		石 田			田 野 口
特殊外来	皮膚科			川 崎		
	※糖尿病外来			宮 内		
	※乳腺外来					交代制 第2・4のみ14:00~(予約制)
	※小児神経外来 (てんかん外来)		四 家 午後(予約制)		四 家 午後(予約制)	
	小 児 科 (アレルギー治療教室)				野村(伊) 渡 辺 14:00~15:00(予約制)	
	育成心身医療科			松崎(淳) 7/16 午前 7/23 午後		松崎(淳) 7/4 7/11 午前・午後

※4月に糖尿病外来5月に小児神経外来(てんかん外来)と乳腺外来が開設しました。
※心療内科・松崎(淳)先生は、月毎に変更となるためご確認をお願いいたします。また、初診・予約外の方は事前にご連絡下さい。



ボランティア募集

国立病院機構神奈川病院では、外来患者さんや入院患者さんの方々が気持ち良く受診や治療が受けられるように、また安心して入院生活が送られるように、暖かい気持ちで、活動していただける方々の参加をお持ちしております。

活動内容

- 外来の案内
- 病院内の案内
- 入院患者さんのお話し相手
- 楽器の演奏・歌・踊り
- お芝居など

【ボランティア受付】

桜田 庶務係 (内線2122)
青井 外来看護師長 (内線 8704)

お気軽にお問い合わせ下さい！

案内図

小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス④番乗場「国立神奈川病院」行
終点(所要時間約15分)

※車利用
東名高速道路「秦野中井」より約10分
◎矢印の方向へお進み下さい。●は進入出来ません。

編集担当者

統括責任者：	市末 潔		
発行責任者：	加勢田 静		
編集責任者：	徳竹 伸重	鈴木 英美	
編 集：	金澤 明子	箱守 良浩	木村 祐子
	久保田 まり子	落合 晶子	田沢 章子
	齋藤 克美		

独立行政法人 国立病院機構 神奈川病院
〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
電話：0463-81-1771 FAX：0463-82-7533